

## 阪急電鉄の歴史と関西学院 ～古い沿線案内や絵葉書で見る変遷～

大西 昭夫 (商昭和 48)

2016(平成28)年10月19日に開催された関西学院大学同窓会東京支部主催三日月会セミナーに、講師として学院史編纂室の池田裕子総合主管が来られました。ちょうど良い機会だと思い、私の所有している阪急電鉄に関する古い資料を寄贈いたしました。自宅に置いておくより、永久保存されると考えたからです。

2010(平成22)年4月、60才で退職を機に、大学時代学んだ経営学と会計学をもう一度と学びなおそうと一橋大学商学部にて2年間聴講生として在籍、成績評価を受けました。その中で、特に経営史(4単位)に関心を持ちました。日本では江戸時代の越後屋三井家以降、西洋ではイギリスの産業革命以降について学びましたが、講義で「阪急の創始者小林一三と都市型第三次産業革命の発展」というテーマがありました。

小林一三は阪急電鉄の前身箕面有馬電気軌道株式会社を設立し、本業を発展させるために本業以外の住宅地開発、レジャー産業、百貨店経営を行ったことで知られています。

住宅地開発では、当時画期的な10年の月賦返済による沿線の土地付き分譲住宅販売のほか、関西学院他の学校誘致があげられます。

レジャー産業では、1910(明治43)年箕面動物園の開園(大正5年宝塚新温泉に移転)、1911(明治44)年宝塚新温泉の営業開始があります。1913(大正2)年宝塚少女歌劇創設があり、のちの宝塚ファミリーランドの基礎が出来上がりました(宝塚ファミリーランド跡地の一部は現在の関西学院初等部)。また、劇場や映画産業にも力を注ぎました。

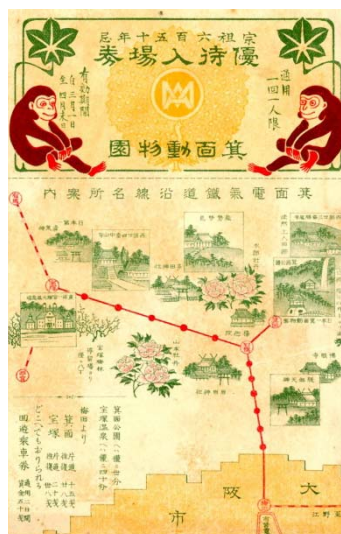
百貨店では、1929(昭和4)年、梅田に初のターミナルデパートを開設しました。

これらは、のちの五島慶太率いる東急グループのビジネスモデルにも大きな影響を与えました。

私自身、現在は東京に住んでおりますが、大学時代以降塚口や武庫之荘に長年住んでいたことや、関西学院と阪急電鉄との関係が深かったこともあり、阪急電鉄の歴史をより深く調べたいと思い、資料や本を集めることにしました。

今回寄贈しました阪急電鉄の古い沿線案内や絵葉書、地図等は、すべてインターネットオークションで手に入れたものです。関西の私鉄の中でも阪急の人気は高く、集めるのに苦労をしました。

歴史を追って、写真で主なものを紹介させていただきます(裏面をご紹介できないのが残念ですが)。興味をお持ちの方は、関西学院大学学院史編纂室でお尋ねください。



【左】箕面有馬電気軌道の開業前年の明治42年に発行された開業広告の絵葉書。開業後交通便がよくなる箕面公園への来園を促しています。宝塚から将来西宮や有馬まで路線延長する計画も記載されています(有馬へは難工事が予想されその後中止)。



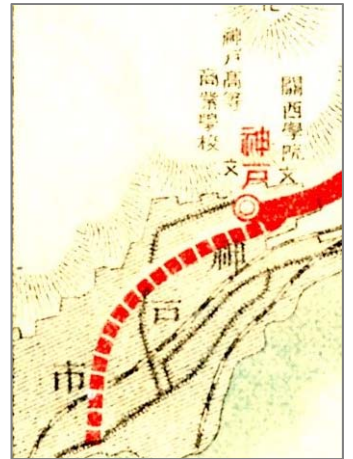
【中】明治 43 年開業後の箕面動物園優待入場券付名所案内絵葉書。日本で 3 番目に出来た動物園でしたが、動物たちが逃げ出したり、近隣からの苦情により、大正 5 年に箕面動物園は廃止され、宝塚新温泉に移されました。梅田・箕面間運賃片道 15 銭、梅田・宝塚間片道 20 銭でした。

【右】大正 7 年上演の宝塚少女歌劇「一寸法師」絵葉書。大正 2 年宝塚唱歌隊(同年宝塚少女歌劇に改名)として少女を募集し、一期生として 16 名が採用されましたが、小倉みゆきはそのうちの一人です。大正 7 年は東京帝国劇場で宝塚少女歌劇の初演があった年でもあります。

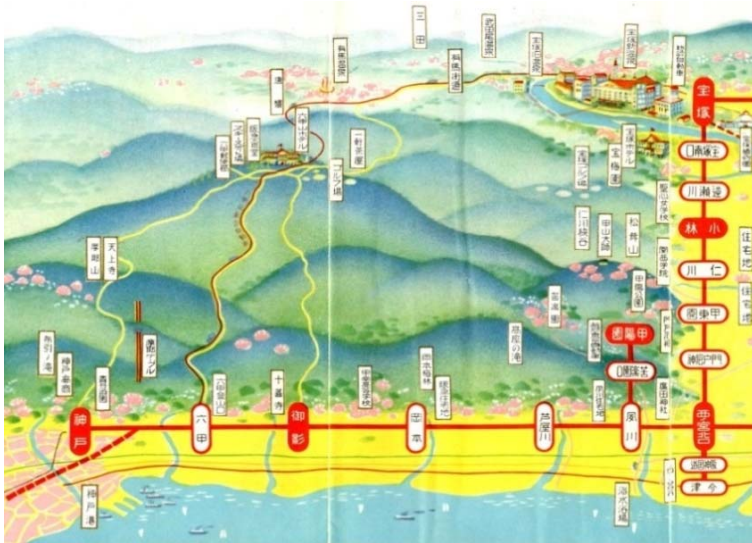


大正 9 年神戸線が開通し、宝塚・今津間が工事中の大正 10 年ごろの阪神急行電鉄(大正 7 年箕面有馬電気軌道から社名変更)沿線名所案内です。

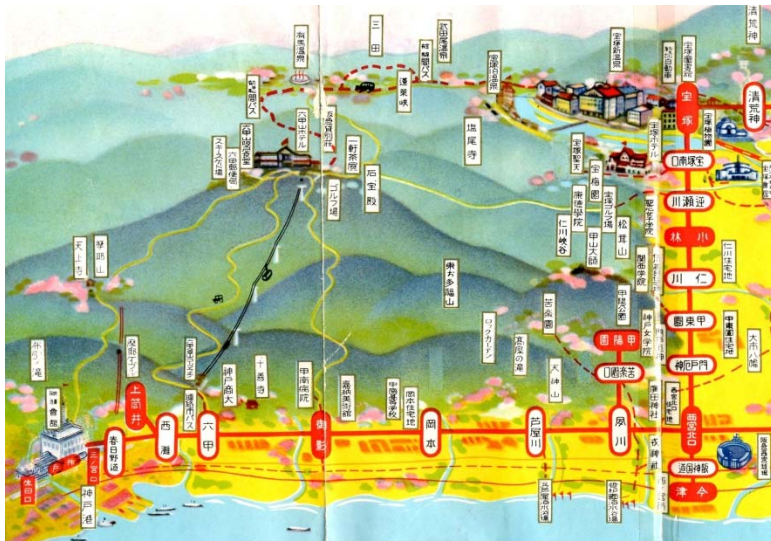
神戸駅(のちの上筒井駅)付近、原田の森に関西学院の記載があります。このとき三宮までの延長計画が地下であるのがわかります。



左下部分拡大⇒



関西学院が上ヶ原に移転後の昭和 4 年ごろと思われる阪神急行電鉄沿線案内です。六甲山ホテルが開業しています。(梅田には阪急百貨店があります。)



昭和 11 年神戸線が三宮まで延長した後の昭和 13~14 年ごろの沿線案内です。延長は地下式でなく、神戸市が難色を示していた阪急念願の高架式になり、工期が短縮できました。三宮延長に伴って新旧分岐点に新設された西灘駅(現王子公園駅)からの上筒井線(昭和 15 年廃止)があります。門戸厄神に神戸女学院が移転し、阪急西宮球場もできています。(武庫之荘駅、園田駅も新設されています。)

東京丸の内キャンパスのランバスホールで、83 名の同窓を前に、ニュートン先生とベーツ先生の話をしました。質疑応答に移った時、これらのお宝を手に取り出て来られたのが大西昭夫さんでした。ご自身で収集された貴重な資料をご寄贈くださっただけでなく、資料紹介のご寄稿にも快く応じてくださいました。本当にありがとうございました。【学院史編纂室 池田裕子】